

---

# 本書を利用する方のために

---

- 本書は、第1章「統計の種類」、第2章「やさしい分析教室」、第3章「分析ツールの紹介と使い方」から構成されています。
- 目的別に掲載していますので、目的に応じて必要な項目を確認することができます。

## 第1章「統計の種類」

現在国勢調査など様々な統計が公表されていますが、必要とする数値について、どの統計に掲載されているのかわからないことが多いと思われます。そこで、この章では数値を取得する際の目的を掲載し統計の特徴を分類することで、それを手がかりとして必要とする数値がどの統計に掲載されているのかたどり着けるようにしています。

## 第2章「やさしい分析教室」

平均や寄与度等各種統計を活用するために必要な手法について、利用頻度が高く代表的な内容を目的別に掲載しています。

(例) テスト結果の特徴を把握したい

「例えば」 ……国語のテスト結果の特徴をつかみたい。(クラスのテスト結果)

「分析の仕方」 ……特徴をつかむための手法として平均値、中央値、最頻値を紹介。

選択時の一般的な手順を紹介。

「分析結果からわかること」 ……上記手法をもとに、手順に従って計算した結果、テスト結果の特徴を表す代表値がわかる。

## 第3章「分析ツールの紹介と使い方」

各種統計を利活用するための分析ツールについて、代表的な使い方や機能について紹介しています。

(例) 統計データをグラフ化したい (統計ダッシュボード)

「ツールの特徴」 ……統計データがあらかじめグラフ化されており作成の手間が省略できる。

「主な機能」 ……棒グラフや折れ線グラフで表示できる。

「例えば」 ……都道府県人口について棒グラフで表示する場合の手順を紹介。

「活用例」 ……上記以外にも市町村別人口や他県比較のグラフの表示ができる。

- 本書で使用している統計データは、原則として令和7年12月までに公表された数値になります。
- 本書は各種調査等の公表結果について解説や分析をしていますが、文中の見解に関する部分は県統計課において例示として記述したものであり、必ずしも新潟県としての公式な見解を示しているものではありません。